

(様式第2号)

## 企画提案書

記載事項		記載内容	評価点
森林所有者に支払う金額		金額(詳細は別紙 様式第3号の見積書のとおり。) 石畑エリア:165,986円 境道エリア:205,752円  集積計画における算定方法により収益が発生した際は森林所有者に支払う。  ただし、事業費及び木材販売売上金額は見積時点での想定額であり、施業実施時の材価や労務・資材・燃料単価等により変動する場合がある。	(25点満点)
木材販売収益の安定・向上		素材生産を適切な時期に行うことで、材質の劣化を防ぐ。  A材については地元一般製材所、B材については大型集成材工場に向け販売する。C D材についても残地せずにできる限り搬出し、バイオマス材としてバイオマス発電所等へ販売する。	(10点満点)
森林経営計画の策定予定の有無		無	(10点満点)
経営管理の 着実な実施	実施体制	技術者:森林施業プランナー 3名 現場作業職員:22名	(10点満点)
	実績 (直近3年間)	搬出間伐面積 544.35ha 搬出材積 32,557.13m <sup>3</sup> 森林作業道開設 24,214.88m	(10点満点)
地域への貢献度	事務所の所在	西村山郡西川町大字海味7番地2	(5点満点)
	地元住民の雇用	職員数 31名(うち西川町内 7名)	(10点満点)
技術的な提案		林業経営の効率化について 所有する高性能林業機械を使用し、高効率低コストの森林整備を実施する。  目標林型について 継続した森林経営を行うため、森林の生産力増進が図られる適正な林分構造に誘導するよう、適切な伐採率及び繰り返し期間となるよう考慮する。また、水源涵養機能や土砂流出の防止等の森林の公益的機能が十分に発揮されるような森林を目指す。  間伐について 全体的に形状比が高いため、干満な木材を得られるよう、現状の成立本数から伐採率20~30%程度の間伐を行う。  森林作業道の開設について 開設に当たっては、高性能林業機械の走行を想定し、経済性を確保しつつ丈夫で簡易な構造とするとともに、継続的に使用できるよう計画する。  生物多様性及び災害防止への配慮について 野生生物の営巣等に重要な空洞木などについて、保存等に努めることで、生物多様性の保全に配慮するとともに公益的機能の高い森林を造成する。	(20点満点)